

拜啓然レハ横濱及神戸商法會議所へノ回答案寫入
 貴覽候ニ付若シ赴意不都合ノ所モ有之候御随意
 ニ御加^筆被下度扱昨日閣下ニ御面晤ノ折現今ノ紙
 幣準備額^分流通上ヨリ引戻サレタル分ナルヤ又ハ新
 ニ発行相成リタル分ニ屬スルヤ御尋問可申上儀失
 念仕候

令一通ノ別紙ハ曩キニ横濱商法會議所議長ナリシ
 「ウヰルキン」氏ヨリ余ニ投セシ書翰ニシテ即々書回
 以下ノ小紙幣若干ヲ発行シ以テ書回以上ノ紙幣ヲ
 引戻スノ利益アルヲ忠告候モノニ有之候恐惶拜
 具

太政官

八十年十二月三日

ゼーゲーケン子ジ

大隈公

閣下



ケン子ジ「氏ヨリ横濱商法會議所議長「チ、
イフファンケル」氏ニ回答案寫



先月二十六日付貴翰ノ趣旨ニ從ヒ余ハ昨日大蔵卿ノ
館ニ赴キ同卿閣下ト日本理財ノ現況共ニ紙幣下落
ノ甚タシキカ為メ貿易上ニ非常ナル困難ノ結果ヲ
来セル實況ニ付キ長談ニ及ヘリ

大隈氏ハ素ヨリ現今外國貿易ノ衰頽ヲ痛歎セリ併
シ此衰頽ノ救濟方案ニ付テハ氏ハ既ニ十分尽カセ
シ旨ヲ断言セリ氏ノ言ニ曰ク過ル二年間ニ於テ政

太
文
宮

府カ減却レシ紙幣ノ高ハ既ニ千貳百萬円ニシテ之
ト同時ニ同額ノ正金ヲ出シ以テ市場ノ需要ニ供セ
リ然レモ此等ノ處置ハ徒ラニ政府ノ銀貨準備額ヲ
減縮スルノミニシテ一モ貿易上ニ酬ユル所ノ利益
アルヲ見ス因テ政府ハ又他ノ方法ヲ案出シ疾ク万
般ノ費用ヲ節儉シ政府ノ工場ヲ拂下ケ、人民ニ貸付
レシ金額ヲ取立テ正貨準備ヲ増加シ因テ以テ紙幣
ヲシテ銀貨ト平準ノ價格ヲ支持スルニ至ラシメン
トスト

閣下又曰ク正金準備額ハ三年前ニ在テハ三千百万

円ナリシモ今日ニ至テハ千貳百萬円ニ減ス此他ニ
紙幣三千萬円ト種々ノ貸出金七百萬円アリト
又閣下ハ今ヨリ十年ノ後ニ於テ正金準備額ヲ五千
萬内外ニ昇セ紙幣ノ流通高ヲ内國ノ需要ニ必用ナ
ル千萬円ノ額ニマテ減少セント欲スト
閣下ノ見ル所ハ其會議所ノ論旨ニ反シ紙幣ノ下落
ハ輸出入不平均ニ原因スルニアラスト考定セリ併
シ氏ハ過ル六ヶ月間ニ在テハ輸入額ノ輸出額ニ越
過スル平均毎日三萬弗ナリシ由ヲ述ヘラレタリ
今此回答ノ局ヲ結フニ當リ大藏卿ハ貿易上及ヒ理

財上ニ就キ其及フ丈ケノカヲ以テ十分ニ報告スヘ
ク且貿易上日本政府及ヒ人民ハ外國人ニ比スレハ
一層害ヲ被ムルト甚タレキ現状アルヲ以テ之カ救
済ノ方法ヲ誓テ案出スヘキ由ヲ余ニ語ラレタル由
ヲ此ニ一言ス

大正官